

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7
(榎田ビル2F)

TEL.054-252-2418
FAX.054-252-2430

発行人 井上博幸



理事長
井上博幸

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族の皆様ともどもご健勝で平成二十三年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国の景気は、低迷したまま足踏み状態が続いておりますが、特に建設産業を取り巻く環境は、公共投資の縮小、民間設備投資の差し控えなどにより、依然として厳しい状況になっております。我々建築板金業界にとっても、受注工事の減少に加え、資材価格の高騰や受注単価の下落など、自分一人の努力だけでは如何ともしがたい現状にあります。しかし、こうした現状

を嘆いているばかりでは、何の進歩も、光明も見出すことは出来ません。今こそ組合員が一致団結して、組織力の活用による事態の改善に向けた取組みを検討のうえ、実行して行く必要があると考えます。その為には、例えば新資材、新工法の開発などへの対応や建設関連の他分野からの情報収集に努め、また他県組合の動きなどにも注目し対処していくことも必要ではないかと思っております。

今年度、組合事業の実施については、技能検定、技能競技大会における技術、技能の振興や後継者の養成、現場パトロールによる安全作業の確保、更には各種保険制度の活用などによる福利厚生事業等、皆さんのご尽力により着実に執行され、成果を上げています。

今後におきましては、組合自体の存在価値を如何に高めていくか。大変難しい課題ではあります。多くの組合員の皆さんからのご意見やご提案をいただきながら役員が一丸となって取り組んで行きたいと思っております。結びに皆様方のご健勝とますますのご発展を祈念して、新年のご挨拶といたします。



東部地区長
林 紀明

新年あけましておめでとうございます。

平成二十三年の新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、御家族様共々お健やかなお正月を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、組合活動に、又地区・支部の為に御協力頂きありがとうございます。

さて、テレビなど見ておられますと、政府の要人は、景気回復の取組みには内需主導の経済の安定的な成長の為に住宅・不動産市場の活性化等による内需拡大が必要だ。住宅着工戸数は昭和四十年頃の水準まで落ち込んでいますが、個人の金融資産を動かす仕組として新築・リフォームを問わず、住宅投資を活性化させると共に広く内外の資金を市場に呼び込むことが重要だ、と話されてきた。今年こそ建築物・着工戸数の拡大に声を大

にして呼びたい。最後になりましたが、組合の皆様にとりましても本年が幸多き年になりますよう、祈念し年頭の御挨拶にかえさせて頂きます。



中部地区長
松浦 源

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様、ご家族様におかれましては、希望に満ちた輝かしい正月をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は未だ不透明な経済情勢の中ですが、建築業界は先行きの景気が見えない様な気がします。

本年二月には青年部全国板金競技大会が富士宮にて、五月には全国板金業者大会が青森で開催されます。組合員の皆様方には今年の経済は良くなること信じ、明るい道を探りながらも企業努力し、組合員で協力し合い皆様

が今年一年健康に気をつけ、活躍出来る良き年になる様願ひ、お祈り致します。新年の挨拶と致します。



西部地区長
金原政美

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様、ご家族の皆様、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は組合発展のためご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。又昨年は原油価格の高騰をはじめ、年金や食の安全など私達の身近な生活に大きな影響を及ぼす問題がございました。特に米国に端を発した金融の危機は世界同時不況ともいわれるほど世界各地に広がり、後半からは株価の暴落や急激な円高、消費や雇用の悪化につながるなど景気の後退が急速に広がった年

でございました。又、本年も建設業にとっては厳しい年が続くものと思われま

す。この様な時こそ組合員一同力を合わせて頑張ろうではありませんか。皆様方の発展なくして組合活動の発展もありません。皆様方のご理解と



青年部部長
小沢 範久

新年明けましておめでとうございます。初春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがとうございます。御礼申し上げます。

さて、平成二十三年は、いったいどんな年になるのでしょうか？不安定な政治、経済が少しでも回復して、私たち青年部員の将来を明るく照らす年になればいいなと、強く思う次第でございます。皆様にとりまして、この新しい年がより良き年でありますよう心から祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

宮崎忠弘氏に静岡県優秀技能者賞

宮崎忠弘氏(浜松支部)は、去る十一月二十六日静岡市の「清水テルサ」で開催された静岡県職業能力開発促進大会において、優れた技能を持って産業界の発展に寄与した功績により、平成二十二年度の静岡県優秀技能者として県知事表彰を受賞されました。



宮崎氏は、板金業五十年に亘り常に技能の研鑽に努め、板金加工・銅板加工の美観・耐久性の工夫を凝らした技術など高い評価を受けた。また、組合役員として青年部長、浜松支部長、常任理事などを務めるとともに、現在では技能検定の講師として熱心に後進の指導に当たられるなど、多大な業績を残されている。宮崎氏から受賞の喜びが次のように寄せられました。



このたびの受賞に對しましては、私にとって身に余る光榮であります。これもひとえに理事長をはじめ役員の方々のご推薦を頂き、また組合の皆様関係各位の御指導と御支援の賜と厚く御礼申し上げます。

顧みれば私もこの職に就き早五十年の年月が経ち数多くの苦労や喜びを体験させていただきました。人は一人では生きていけない事をしみじみ感じたと思います。多くの人の支えや支援を受けなくてはなりません。

この思いを大事にこれからも創意工夫を行い技術向上と自己研鑽に努めてまいりたいと思っております。そして微力ではありますが当板金組合の諸活動に理解と協力を惜しまないよう努めてまいりたいと思っております。皆様方の御指導御鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。受賞の御礼と致します。

全技連会長表彰の受賞



松下隆満氏

技能振興に顕著な功績のあった功労者に贈られる全国技能士連合会会長の表彰を、松下隆満氏(浜松支部)が受賞され、去る十一月二十四日、静岡市のクーポール会館で表彰状並びに記念品が授与された。

優秀技能士を受賞



青木 進氏
中山正健氏

技能士として極めて優れた技能を有し、他の技能士の模範となる者に贈られる、平成二十二年度静岡県優秀技能士の表彰式が、去る十一月二十四日、クーポール会館で行われた。

静岡県板からは、青木進氏(清水支部)並びに中山正健氏(小笠支部)の両人が受賞の榮譽に輝いた。

静岡県技能競技大会入賞者

平成二十二年度静岡県技能競技大会入賞者の表彰式が、去る十一月二十四日、クーポール会館で行われた。静岡県板の入賞者は次のとおりである。なお、Bコース入賞の大場秀倫君と久保拓也君は、二月十二日・十三日に富士宮市で開催の全国板金競技大会へ静岡県板代表として出場することとなっており健闘が期待される。

○Aコース
最優秀賞
河合功介(焼津)



○Bコース 最優秀賞



大場秀倫(榛南)

第八回人づくり、物づくりフェア東京

富士支部
野村和稔

富士市技能職団体連絡協議会は平成二十三年一月十三日に東京都職業能力開発協会主催の技能の振興と継承を目的とした第八回人づくり、物づくりフェア東京に視察研修を実施した。われわれ富士支部会員も四名(川崎支部長、望月哲男副支部長、鈴木勝男副支部長、野村常任理事)が参加した。

午前中は東京・築地の場外市場を見学し、活気ある市場の様子に圧倒された。参加者二十六名は、各々自由行動のため、買い物や食事を楽しんだ。十三時より東京都・産

業貿易センター浜松町館三階展示室で開催されている会場で、美容作品、貴金属装身具、印章彫刻、日本料理、着物、洋装婦人服、洋服(紳士服)、建築、家具、晝作品、機械、板金、金属製品、塗装、表具工芸作品、製本、園芸、車椅子、靴、図面、印刷物などを見学した。

特に板金の会場では東京都板金工業組合、東京都板金高等職業訓練校、副理事長・校長の畠山輝夫氏、専務理事・副校長の石田修巳氏、副理事長の山口正周氏、教育技術部会長の堀田興平氏と技

術、技能、作品について意見交換を行い有意義な時間を過ごした。その後、滅多に見る事のない日本料理、四條流包丁儀式を見学した。鳥帽子姿で、まな板の鯉を手を触れず包丁と菜箸で捌く姿は王朝時代の雅な厳粛な儀式である。包丁人は四條流副頭取の佐藤栢嶺氏が仕切った。匠の技に感動を覚えた。

今回の視察は新春早々本当によかった。われわれも、更なる技術の研鑽に励み職人の技を後世に伝えたいと思う次第だ。

総代会の日程決まる

平成23年5月26日(木)

当面の主要日程

- 2月12日(土) 全国建築板金競技大会(富士宮市)
- 13日(日)
- 3月11日(金) 三役会議、常任理事会、協力店会議
- 3月16日(水) 中板協常任理事会(名古屋市)
- 4月11日(月) 中板協総会(富山市)
- 4月12日(火) 三役会議、会計理事会 監査会
- 4月15日(金) 技術検定委員会
- 4月28日(木) 常任理事会、理事・支部長会議
- 5月11日(水)~13日(金) 第63回全板連青森大会(青森市)
- 5月26日(木) 県板総代会

支部新年会開催される

平成二十三年 新春を寿ぎ、富士支部 新年会を開催

富士支部長

川崎 長清

元旦より穏やかな日がつづき新春を迎え富士支部恒例の新年祝賀の会が、富士市役所前の「角山吉原店」で一月十四日十八時より二十六名の出席者のもとで盛大に開催された。司会を鈴木勝男副支部長が務め、川崎支部長の挨拶があり、今後の事業の計画や全板青森大会に触れ、大勢の組合員が参加されるよう話された。



引き続き、野村常任理事が祝辞を陳べられ、その中で、わが国の景気も足踏み状態で、失業率も

高く、依然厳しい状況が続くが、この危機的時期

にあつて苦境を打破するには、より一層の組合員の結束を強め、みんなの知恵を出し合い、良いと思つた事は突き進めることが大切であると陳べられた。また、県板の運営に触れ、削減出来るものは徹底的に見直し、会員の皆様の期待に副えるよう努力している、是非ご協力、ご理解願いたいと話された。最後に卯年に因んだ意味を話され卯という字は、物を両側に押し開け、閉じた物や困難を押し開ける意を含んでおり、芽生えを表し、この卯年に願いを込め現在の閉塞状況を打破して、景気が上向いて行く年になって欲しいと結ばれた。

その後、(株)高橋建材店(株)植松の各代表が祝辞の中で今年の経済の見通しに触れ、大型物件の期待は薄い、住宅やリフォームは良いのではないかと全て下期に期待をしていると陳べられた。

最後に、富士支部の顧問的存在の県会議員野澤洋夫人が祝辞と議員への

支援を陳べられた。

望月哲男副支部長の乾杯の発声で、楽しい宴が始まった。今回は会員の息が多く見られ、祝賀の席を盛り上げた。お開きの時間も迫り、海野利之會計が閉会の詞で散会となった。

八十七年間の歩みとこれから…

八十七年間の歩みとこれから…

清水支部長

伏見 一雄

新年あけましておめでとうとございます。本年も宜しくお祈り致します。

清水支部は、昭和初期鈴木浅吉様初期支部長(組合長)より発足し、八十七年の歳月が過ぎました。

八十七年間歩んできた活動行事の中で、歴代の諸先輩より引き継がれ、大事に育て現在まで、続けてきているのが「年明け表彰」です。昭和二十八年に始まり、今回で五十九回目となります。

本年一月六日サンルート清水ホテルにて新年会が開催され、その中で『第五十九回年明け表彰』を行い、四名(山本雅史・

岩重祐亮・岩邊哲也・杉山鉄弥)の若者が、来賓(二十三名)及び、諸先輩(四十三名)列席の前で表彰されました。



若者への育成は勿論の事、組合員にも技の伝承・新工法の開発・新資材の早期伝達等、時代に乗り遅れる事のないようにIP関係にも取り組んで行きたいと思ひます。

本年から、テレビもアナログから地デジになり、技も経営も、きつとアナログから地デジになる事でしょう。清水支部は頭の中も地デジに変換し、板金と言う名を無くすことの無い様に、役員を初め組合員全員で、この若者達と一緒に伸びて行こうと思ひます。

今年の干支は、「うさぎ」です。何事にも、跳びはね躍動の年になれるよう頑張ります。

静岡支部新年会

新年あけましておめでとうとございます。

一月七日(金)午後五時より、マイホテル竜宮において恒例の新年会が開かれました。まずは、輔の神様である金山彦に二礼、二拍手、一礼をし、新年の祈願をいたします。続いて、北村弘理事長より年頭を迎え、「関係諸団体のご支援、ご協力を仰ぎ、信用を第一とし、技術の向上をはかる組合員のための組合作りをしたいと思ひます。」と挨拶がありました。

来賓の天野一県議、松浦源中部地区長、ケイミュー(株)、小池商店(株)、小山豊(株)、(株)明星商会、アイジー工業(株)、(株)梅村商店、萩原スチール(株)、(株)静岡ねじ様に一言づつご挨拶をいただきました。

続いて、七十歳になられた組合員の藤田勉力、藤田清春、山崎昌作氏へ記念品贈呈があり、組合の発展と健康を願ひ、一同乾杯をし、宴会に入りました。

お酒も進み、メーカー、問屋さんとの話に花を咲かす方、カラオケを歌う方、それぞれ組合員にこやかなお顔を拝見し、組合員数が減り新年会の

出席者数を心配していましたが、組合員三十名、メーカー・問屋さんが十社、出席していただき日頃の疑問、意見等交流をはかれた事は大変有意義

でした。本年も静岡県板金工業組合はじめ諸関連団体のご指導とご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

東部地区安全パトロールに参加して

富士宮支部 鈴木文雄

今回の東部地区安全パトロールは、平成二十二年十月十九日(火)に富士宮支部管内で実施されました。

仲亀支部長に万端の準備をして頂き、当日は井上理事長を始め東部地区県板役員の皆さんを富士宮駅に迎え、挨拶を交わした後、秋の清々しい空気の中を二台の車に分乗してパトロールに出発しました。

現場は、富士宮市の南側に当たる野中地区方面内に七ヶ所ほどの新築物件の現場を点検しました。各現場で作業されている業者の方々は、パトロールに対して快く対応されとても和やかに感じられました。

お酒も進み、メーカー、問屋さんとの話に花を咲かす方、カラオケを歌う方、それぞれ組合員にこやかなお顔を拝見し、組合員数が減り新年会の

には、怪我の無いようにと心からお祈りし現場を後にしました。パトロール後には、役員の方々と昼食を取りながら懇談をし、和やかな中にも内容のあるお話も聞くことが出来、大変参考になりました。

今回、富士宮支部としても責任を果たすことができましたが、東部地区の役員の皆様、そして富士宮の支部長、役員の皆様お疲れ様でした。とても有意義な一日でした。



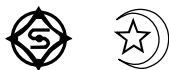
欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品/銅・アルミ・ステンレス/化学製品
機械工具/住宅設備機器/エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式會社

本社/〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代)
FAX 0537-48-2644



トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい
三晃式長尺瓦棒・三晃式折版構造

株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地
電話 053-423-0007(代) FAX.053-423-0010

プレステージ

やね屋の太陽光発電！ やってます!!



株式会社 植松

本社	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555
沼津営業所	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555
御殿場営業所	御殿場市清後545-1	TEL 0550-83-6760
伊東営業所	伊東市宇佐美稲田1111	TEL 0557-47-1363
富士営業所	富士市松岡寺新田413-5	TEL 0545-62-0233
製造部	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1004
建販部	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555

セキノ横段屋根工法

ダンネットトップ 快適横段15

スッキリした 観望ラインが美しい 快適エコルーフ

ジョイント部材不要	施工性
二重防水構造	防水性
遮熱塗装鋼板使用	遮音性
断熱ボード工法	断熱性

技能検定受検希望者は 支部長を通じて 県板組合事務局へ ご連絡を

例年、技能検定試験は、実技試験は7月、学科試験は9月に実施されています。23年度の技能検定試験日程については決まっておりませんが、例年、申し込み期限は4月上旬になっています。そこで受検希望者は、3月中には支部長を通じて、組合事務局にご報告をお願いします。

《お知らせ》

労災保険加入の更新手続きを 未加入者は新規加入手続きを

1 一人親方労災保険加入者について

すでに一人親方労災保険に加入している方で、引き続き23年度も加入を希望する組合員は、3月14日(月)までに事務局までご連絡ください。期限厳守でお願いします。

給付基礎日額を変更をされる方、また加入を脱退される方は事務局までご連絡ください。

新たに一人親方労災保険に加入を希望する方は事務局までご連絡ください。

なお、基礎給付日額は次のとおりです。

3,500円 4,000円 5,000円 6,000円 7,000円 8,000円 9,000円
10,000円 12,000円 14,000円 16,000円 18,000円 20,000円

2 事業主労災保険加入者(従業員を雇用されている方)について

すでに事業主労災保険に加入されている方は、22年度賃金総額の確定報告と23年度賃金総額支払い見込み額の報告を、4月20日(水)までに事務局へお送りください。

報告のための必要書類は、労働局から配布され次第お送りします(2月末予定)。

上記賃金報告により、今年度支払うべき保険料が算出されますので、書類の提出は期限厳守でお願いします。

新たに事業主労災に加入を希望される方は、事務局までご連絡ください。

3 労災保険事務手数料の改定について

労災保険の加入者は、現在一人親方が47事業所、事業主が21事業所となっておりますが、事務手続きには、更新、変更、給付等に相当の事務量を要しており、組合事務処理における比重や、他組合の状況等を勘案して、事務手数料を次のように改定させていただきます。

- ・一人親方 現行 2,000円 → 改定 3,000円
- ・事業主 現行 2,000円 → 改定 5,000円

全板連青森大会参加者募集

第63回全国建築板金業者青森大会への本県板の参加旅行日程が決まり、各支部を通してご案内しているところです。この大会は全国の同業者が一堂に会し情報交換や親睦を深める数少ない機会であるとともに、今回は魅力ある新緑の青森路を巡る旅行となっております。奮ってご参加ください。

旅行期間は平成23年5月11日(水)~13日(金) 2泊3日



1. 大会参加旅行コース

日次	月日	[青森・弘前・奥入瀬3日間コース] *添乗員同行									
1	5/11 (水)	浜松駅-掛川駅-静岡駅-三島駅-熱海駅					----- 東京駅 -----				
		7:31	7:42	7:59	8:29	8:38	9:26	9:56	※車中お弁当		
2	5/12 (木)	新青森駅 == 三内丸山遺跡 == 棟方志功記念館 == 浅虫温泉 == 青森市内 == お宿					【食事条件:朝× 昼○ タ○】				
		13:19	13:40~15:00	15:10~15:40	16:00頃	19:30~					
3	5/13 (金)	浅虫温泉 == 青い森アリーナ == 弘前城公園 == 岩木山展望台 == 嶽温泉					【食事条件:朝○ 昼○ タ○】				
		8:30	9:00~13:00	17:00頃							
	5/13 (金)	嶽温泉 == 津軽伝承工芸館 == 十和田湖遊覧船 ~ 十和田湖畔 ~ 奥入瀬渓流 == 八戸駅					【食事条件:朝○ 昼○ タ○】				
		8:30	9:10~9:40	11:50~12:50	13:00~14:00	16:06					
		*ダイヤ改正等に伴い時刻が変更となる場合がございます。 【食事条件:朝○ 昼○ タ○】									

- 2. 大会旅行費 1人 88,000円 (大会参加費 3,000円、予備費 2,000円を含む)
- 3. 申込み期限 平成23年2月25日(金)
- 4. 募集人員 60名以上